

令和8年 年頭所感

一般社団法人東京都信用組合協会
会長 柳沢祥二
(大東京信用組合 会長兼理事長)

謹んで新年のお慶びを申しあげます。

日頃より信用組合業界へ温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申しあげます。令和8年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

さて、昨年は世界的にも国内的にも変化の多い一年でありました。

世界経済においては、1月にトランプ氏が米国の第47代大統領に就任し、国際貿易における相互関税の発動により大きな影響を受けました。また、ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル・ハマス戦争の長期化により地政学リスクの高まりが経済に及ぼす影響も懸念されました。

一方、日本経済においては、「金利のある世界」の中、全体として回復基調を維持し、政府はデフレ脱却宣言を留保したものの、個人消費の復調やインバウンド需要が回復を後押ししました。また、4月から10月まで開催された大阪・関西万博の経済効果は3.6兆円と予想より6,500億円上回ったとしています。そのような中、日経平均株価は大きく上昇し、史上初めて日経平均株価が5万円の大台を突破いたしました。10月には高市新政権が誕生し、責任ある積極財政を基本方針として掲げており、今後の景気対策および経済政策が注目されております。

しかしながら、私ども信用組合の主なお取引先である中小企業・小規模事業者においては、経営者の高齢化の進行により後継者不足は深刻化を続け、構造的な人手不足に加え、円安による原材料価格の高騰や賃上げ等の費用増がなかなか価格転嫁に至らないなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

信用組合は今年もこれまで以上に事業者支援・生活者支援の充実を最重要課題として捉え、特に事業者支援では資金面での支援のみならず、販路拡大、経営改善、事業承継など、新たに示された「地域金融力の強化」への対応も含め、お取引先の持続可能性確保に向けた支援の取り組みを更に強化して参りたいと存じます。

当協会では各信用組合が情報の共有化およびお客様の販路拡大支援に尽力できるよう、独自に開発した取引先のマッチングサイト「くみちゃんの縁結び」の活用により、引き続きお取引先の販路開拓支援に取り組んで参ります。また、中小企業診断士およびファイナンシャルプランナーの派遣を継続実施し、会員信用組合とともにお取引先事業者や生活者の課題解決に向けた各種相談を行って参ります。

さらには、東京都との連携により、お取引先の事業承継に係る課題の洗い出しから課題解決策の立案、事業承継の実現に必要な資金調達までの取組を一貫して支援する「地域金融機関による事業承継促進事業」や、新規創業に対する低利融資「女性・若者・シニア創業サポート 2.0」、お取引先の脱炭素化を促進するため、温室効果ガス排出量の現状診断や計画策定等を支援する「地域金融機関による脱炭素化支援事業」といった事業にも取り組んでおります。

加えて、多様化する社会課題の解決を後押しする事業を支援するため、日本政策金融公庫と「ソーシャルビジネス支援に関する業務連携・協力についての覚書」を締結いたしました。社会課題の解決を目指しながら持続可能な利益を生み出すソーシャルビジネスは、信用組合の相互扶助の理念と親和性が高く、ともに成長していくことができます。業界を挙げて支援に取り組み、地域での存在を確かなものにしていくため、3か年計画のアクションプランを制定いたしました。まずは定期的な情報交換会を開き、支援活動に取り組んで参ります。

これら信用組合が求められる様々な事業を展開していくには、信用組合で働く役職員自身が常にレベルアップをしていかなければなりません。役職員一人一人が日常業務を通じて研鑽を重ね、組織として力を結集させることが重要で、そうした人材の成長がこれからの中の信用組合経営の源泉になるものと考えております。

そのような考え方のもと、当協会では「人的資本経営の実践」を念頭に、会員信用組合の人材育成に向けた事業を展開しており、これまでも「人的資本経営シンポジウム」や「若手職員による意見交換会」など、様々なプログラムを実施して参りました。本年は新たな取り組みとして、女性管理職および管理職候補者を対象に「信用組合の魅力は私たちがつくるプロジェクト～主体性と協働で持続的な変化を生み出す～」を実施いたします。人的資本経営の中でも、女性の考えに基づいた「活躍できる環境づくり」に向けて、業界の魅力向上と再発見を目指し、お客様に向けた視点と、働く職員に向けた視点の双方から活発な意見交換を行い、広い視野を持ち新たな組織・文化づくりに貢献し、持続的な価値を生み出すことを目指して参ります。

他にも、業界が対応すべき課題として、サイバーセキュリティ対策やＩＴ・DX化の推進に加え、コンプライアンス経営が重要となっております。誠に残念なことに、昨年は信用組合業界において不祥事が相次ぎました。これらは業界全体の信頼を大きく揺るがすものであり、極めて重く受け止めております。業界を挙げて再発防止に本気で取組み、信頼回復を図って参る所存です。

以上のように、信用組合を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いておりますが、様々な課題解決に向けて一歩ずつ進めていき、業界が一致団結して取り組むことで、必ずやこの難局を乗り越えられるものと信じております。

信用組合は、地域経済の活性化に不可欠な存在です。地域・業域・職域の各信用組合が連携し、それぞれの強みを活かしながら、お取引先の多様なニーズに応えられるよう、より一層サービスの向上につとめていく所存です。

本年も信用組合がお取引先や地域の皆さんにとって、安心してご利用いただけるように身近で頼りになる金融機関としてその特性と役割を十分に發揮し、協同組織金融機関の使命を果たして参ります。

今年一年の皆さまのご多幸とご健勝を祈念し、年頭のご挨拶といたします。